

山大ブランドの創出 TOPIC



18歳人口の減少により、希望すれば誰もが大学に入学できる「大学全入時代」を迎え、いま各大学では、受験生や保護者、地域の方に魅力をアピールするため、ブランド力の向上に力を入れている。選ばれる大学になるため、教育面での特徴ある取り組みの他、大学の研究成果の製品化や独自ブランドの商品開発・販売、シンボルマーク、キャラクターの制作など、多方面でイメージ戦略が繰り広げられている。

山口大学発！さまざまな商品

平成16(2004)年の法人化後、本学でもシンボルマーク入りのグッズや、日本酒、まんじゅうなど、さまざまな商品を開発、販売している。



「長州学舎」

「山口大学まんじゅう」

日本酒「長州学舎」は、山口県で開発された酒米「西都の雫」を本学農学部附属農場で栽培し、萩市の酒造会社に醸造を依頼して誕生。平成21年から学内で販売されている。

平成18年度のおもしろプロジェクトで誕生。学生が大学のブランド商品を企画し、県内のまんじゅう製造会社や印刷会社と連携して制作した。現在も学内で販売されている。



「ヤマミィ」お披露目会

ヤマミィの誕生

大学の教育理念やイメージを親しみやすいマスコットキャラクターに表現し、大学をより広くアピールする広報活動も行われている。

本学でも、創基200周年を契機に、学生、児童生徒(園児)および教職員が一体となって前進することを祈念し、また、地域に開かれた山口大学を目指し社会との連携を強めることを目的として、平成24年11月、山口大学のキャラクター「ヤマミィ」が誕生した。

ヤマミィという愛称は、Yamaguchi University から「Yama(ヤマ)」、ネコの鳴き声を意味する英語「Mew」から、「私」を表す「Me(ミィ)」を取り、組み合わせたもの。学内外を問わず、様々なイベントに参加し、山口大学の顔として活動している。